

# 弘前市上下水道ビジョン 策定内容について

弘前市上下水道部

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（策定の趣旨と位置付け）

## 概要

○人口減少に伴う料金収入の低下や、上下水道施設の老朽化等の厳しい事業環境が予想される中、過年度に策定した標記計画を見直し、今後の上下水道事業の取組事項や方策を示す、新たな基本計画を策定するもの。

## 上下水道ビジョンとは

○今後の上下水道の将来像を明示するとともに、その将来像を具現化することを目的に、当面の間取り組むべき事項や方策を定めた、**本市の上下水道事業の基本計画**。

○将来にわたって安定的に事業を継続していくため、事業経営の健全化と経営基盤の強化を図ることを目的とした、**中長期的な経営の基本計画**。

## 計画期間

○令和6年度（2024）～令和15年度（2033）（10年間）

※現計画期間 令和2年度～令和11年度（平成20年策定、平成26年3月改定）

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（将来像と基本目標）

## 基本目標

「安全・快適」・「強靱」・「持続」・「環境」のそれぞれの視点から、本市の上下水道事業の課題を整理し、4つの基本目標を以下のとおり設定しました。

### 基本方針

### 基本目標

#### 安全・快適

安全安心な水道水の供給  
快適な生活環境の維持向上

安全な水道水を供給するため水質管理体制の充実を図ります。  
また、衛生的で快適な生活環境の確保のため、下水道の接続促進や汚水処理方法の検討を行います。

#### 強靱

災害に強い上下水道の構築  
快適な生活環境の維持向上

ライフラインを災害時にも止めないため、施設及び管路の更新を行い、迅速な復旧が可能な体制を構築します。

#### 持続

経営基盤の強化  
維持管理の合理化・高度化  
お客様サービスの充実

良質な上下水道サービスを継続するため、施設の合理化や事業運営の効率化に努め、健全で安定的な経営を行います。

#### 環境

地球温暖化対策の推進

環境負荷の軽減を図るため、省エネルギー化や、温室効果ガスの抑制に努め、地球環境を守ります。

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（実現に向けた取組）

## 取組事項

基本目標を達成するために、計画期間である令和6年度から令和15年度までに取組む具体的な施策を設定しました。

### 安全・快適

		R4	R10	R15
水安全計画・水質検査計画の検証・見直し	水質基準適合率	100	100	100
浄水処理施設の適切な管理	毎年度実施			
給水装置と貯水槽水道の管理指導の徹底	毎年度実施			
汚水処理区域再編による未普及地域の解消	汚水処理人口普及率	98.5	98.6	98.7
整備地域での接続啓発	水洗化率	94.1	94.6	95.2
公共用水域の保全	放流水の水質基準適合率	100	100	100

### 強靱

		R4	R10	R15
基幹管路及び重要給水施設配水管の耐震化	配水管の耐震化率	51.6	60.3	67.3
重要下水道管路の耐震化	下水道管路の耐震化率	29.7	31.2	32.8
水道施設等の耐震化・耐水化	上水道施設の耐震化率	15.5	94.5	94.5
下水処理施設等の耐震化・耐水化	下水道施設の耐震化率	72.4	79.3	79.3
応急給水・応急体制の強化	随時、実施			

### 環境

省エネルギー型機器への転換	更新に合わせて導入
下水道資源の有効活用	県と協力して活用

### 持続

		R4	R10	R15
有収率の向上(水道)	有収率(水道)	86.6	87.0	88.0
有収率の向上(下水道)	有収率(下水道)	81.7	82.5	83.3
未収金対策の強化(水道)	料金回収率(水道)	99.49	99.52	99.52
未収金対策の強化(下水道)	料金回収率(下水道)	99.55	99.55	99.55
料金体系の見直し(水道)	経費回収率(水道)	109.9	100以上	100以上
料金体系の見直し(下水道)	経費回収率(下水道)	109.0	100以上	100以上
新たな収入源の確保	ふるさと納税等、手法の検討			

「弘前市水道事業アセットマネジメント計画」、「弘前市下水道事業アセットマネジメント計画」の見直し	定期的な計画の見直し
適切な資産管理	資産の活用方法の検討
広域化・共同化計画の推進	周辺市町村と調整し検討
施設の統廃合、ダウンサイジングの推進	統廃合や縮小の検討
官民連携の推進	手法の検討
DXの推進	手法の検討
スマートメーターの導入	導入検討

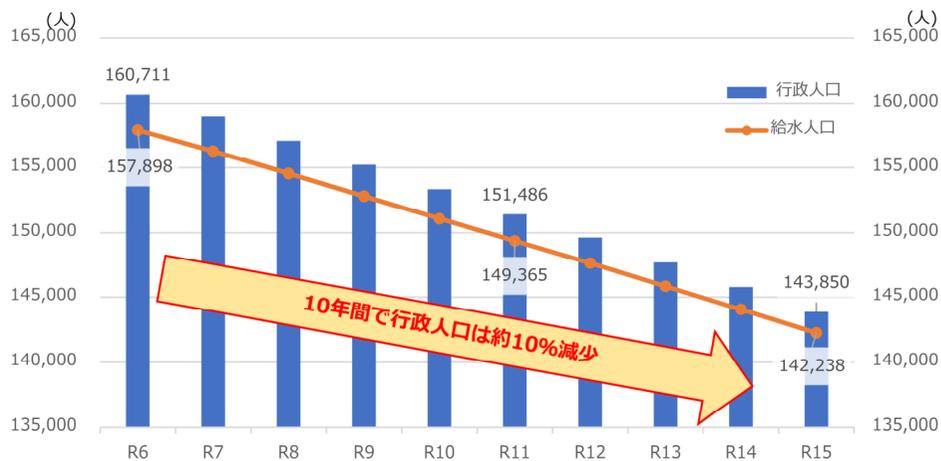
広報活動の充実	各媒体での広報及びイベントの実施
各種受付の改善	手法の検討

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（年次計画と財政見通し）

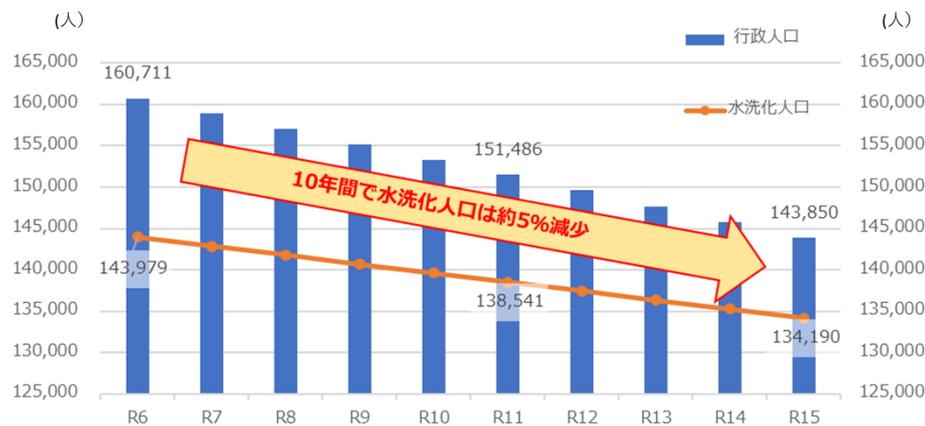
## 将来推計

給水人口及び水洗化人口は、市の行政人口に比例して減少することが予想されます。

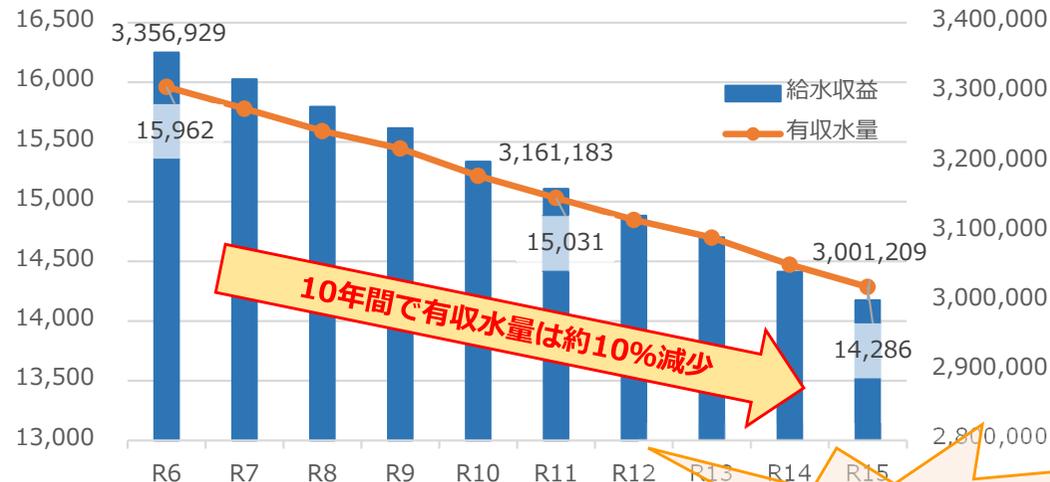
これに伴い上下水道料金収入の減収が見込まれ、上下水道事業の継続が厳しくなることが予想されます。



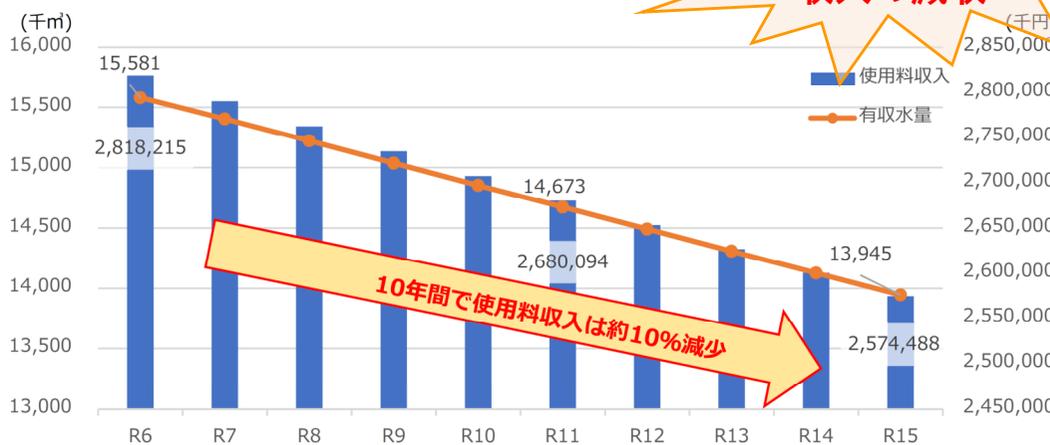
給水人口（水道）と行政人口の推移



水洗化人口（下水道）と行政人口の推移



給水収益と有収水量（水道）の推移



使用料収入と有収水量（下水道）の推移

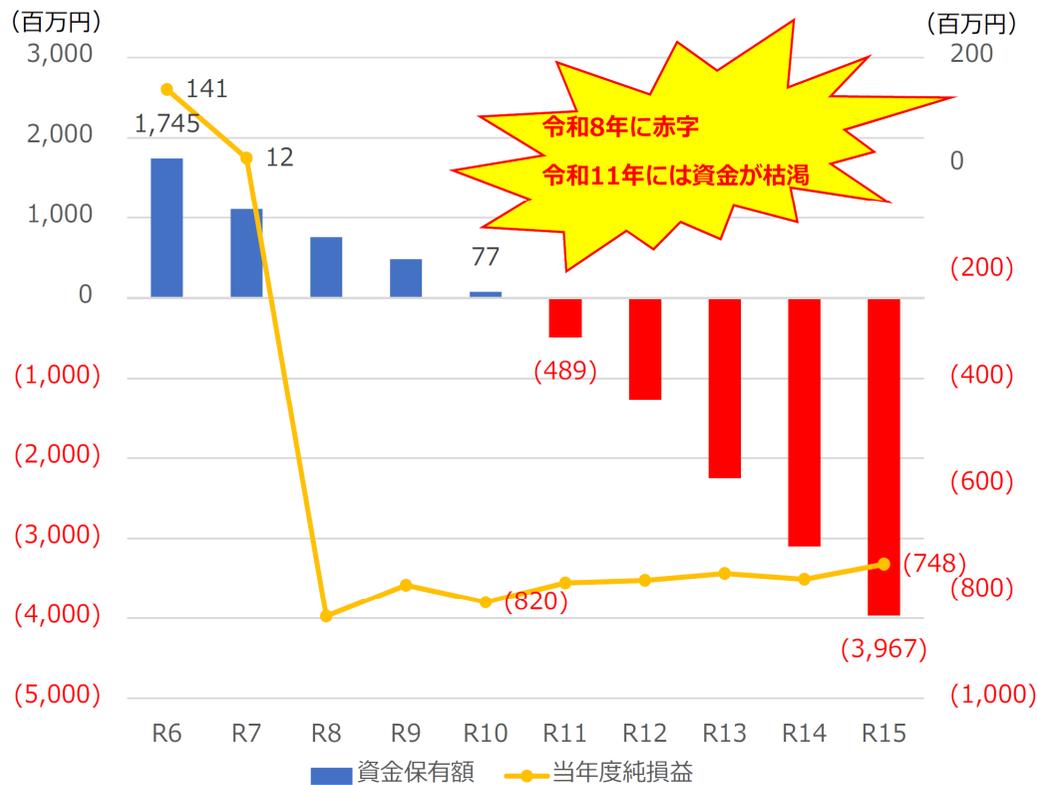
上下水道料金収入の減収

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（年次計画と財政見通し）

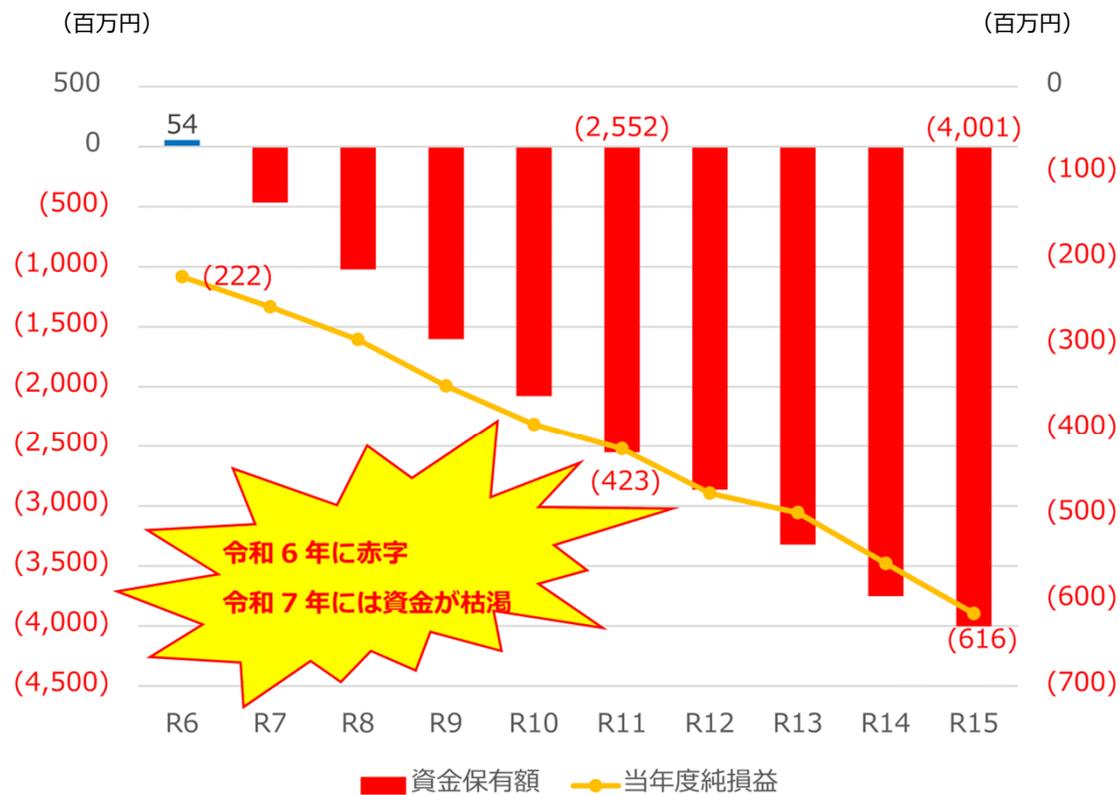
## 資金保有額

上下水道料金の減収により、単年度ごとの純利益が減ることが予想されます。

純利益が減るため、資金保有に頼らざるを得なくなり、その結果、数年以内に資金が枯渇する見込みです。



水道事業の資金保有額



下水道事業の資金保有額

# 弘前市上下水道ビジョン策定案について（年次計画と財政見通し）

## 料金改定

このような状況においても事業運営を継続していくために、上下水道料金を改定し、上下水道の維持管理及び施設更新を適正に行えるようにします。

## 水道

料金改定を行うことで、資金保有額が安定し健全な事業運営を行えるようになります （単位：百万円）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資金保有額	1,745	1,106	755	481	77	-489	-1,274	-2,249	-3,097	-3,967

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資金保有額	1,745	1,106	1,481	1,564	1,903	2,070	2,010	1,800	1,728	1,825

料金改定 → 料金改定後

予定

（単位：百万円）

## 下水道

料金改定を行うことで、資金保有額の減少幅が小さくなります。また、赤字については水道事業より借入することとしています。

（単位：百万円）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資金保有額	54	-463	-1,021	-1,602	-2,076	-2,552	-2,864	-3,322	-3,751	-4,001

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資金保有額	61	-461	-779	-1,150	-1,463	-1,492	-1,413	-1,510	-1,237	-867

料金改定 → 料金改定後

予定

（単位：百万円）